

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	こどもの保健Ⅲ	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	熊坂 隆行		実務経験の有無・職種	有・看護師	
学習目的					
集団保育における疾病や事故の対応、安全管理等について理解し、保育者として疾病や事故を未然に防ぐ危機管理能力を高めることを目的とする。演習を通して、実践できる能力を身につけることをねらいとするが特に、乳幼児期の特徴と観察、身体計測技術、生理機能計測技術の学習や演習を行ない、日常に必要な養護技術、疾病と予防及び対処法、救急時の対応と事故防止、安全管理立案の方法なども習得することが目的となる。					
到達目標					
こどもの健康及び安全に関する保健活動の計画及び評価ができること、こどもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境調整ができること、こどもの疾病とその予防及び適切な対応ができること、救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策が立案できること、現代社会における心の健康問題や地域保健活動などにつて理解できることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	こどもの健康と安全の理解を深めるため、レジュメ、配布資料の内容についての解説はPower Pointを用いて進め、実技についてはDVDを用いて、より詳しく解説する。また、演習はグループで行ない、学生が主体的に「問い」を発し、その「答え」を個人およびグループで発見、検討していく形式で進める。参考資料を紹介し、多面的に対象を理解する機会を提供する。				
注意点	自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に講義に参加することを前提とする。学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するが、こどもの健康と安全を守る重要な科目であることから、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	実技	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	発表	30%	グループ発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	こどもの保健を学ぶ意義と目的及び保健活動の計画と評価の実際		こどもの保健を学ぶ意義について理解する		
2回	観察技術の講義と演習		観察項目について理解する		
3回	日常に必要な養護技術		日常生活において必要な援助について理解する		
4回	症状に対する看護		さまざまな症状に対する対応について理解する		
5回	病気への対処と予防：感染症・食中毒・手洗いチェック		病気への対処と予防について理解する		
6回	事故防止と安全教育：発達段階と事故・事故予防		事故防止と安全について理解する		
7回	保育における応急処置		応急処置について理解する		
8回	こどもの保育環境と衛生管理		保育環境と衛生管理について理解する		
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					